

平成 22 年度事業概況報告

介護人材の育成・確保が政策課題に位置づけられ、「介護職員処遇改善交付金事業」が平成 21 年 10 月にスタートしました。平成 22 年度はこの事業に職員のキャリアパス要件等が導入され、賃金改善だけでなく、人事制度の整備や人材育成環境の整備、職場環境等処遇全般の改善への取り組みが求められることとなりました。

当法人では第二次中期計画（平成 22 年度～24 年度）に基づき、職員の能力開発と人材の育成・確保を図るため「人事制度検討委員会」を中心に全職員参加のもとで、新たな人事制度の構築に着手しました。

また、福祉人材確保対策として打ち出された県の各種補助事業による雇用と職員研修に積極的に取り組みました。特に職員研修では、近隣他施設・事業所と連携し、合同で年 9 回に及ぶ研修会を開催、法人内職員だけでも延べ 178 人が参加するとともに職種別の交流も行い、新たな研修機会を創りました。

特別養護老人ホームゆめの里和田では、病院への入院治療者は前年より大幅に減少しましたが、退所者が前年を上回り、その結果、一日平均入所者数は 75.1 人で計画比 Δ 1.8 人となりました。短期入所は空床利用を含めて計画比 1.1 人増の一日平均 7.0 人で、長期・短期合わせた一日平均利用者数は計画比 Δ 0.7 人の 82.1 人となりました。

ゆめの里和田デイサービスセンターは 6 月から土曜日営業を始め、延べ利用者数が前年比 1,000 人超の増加で、一日平均利用者数は計画比 2.7 人増の 23.7 人と大幅に増加、また、ゆめの里訪問看護ステーションも訪問回数が前年比 115.7%の大幅増加となりました。

新村宅幼老所は一日平均利用者数が計画比 0.7 人増の 9.0 人となり、高い利用率となりました。

特別養護老人ホームゆめの里朝日は入院治療者が多くなり、平均入所者数は計画比 Δ 1.0 人の 26.6 人で、短期入所は計画比 0.8 人増の 3.2 人となり、長期・短期合わせた一日平均利用者数は計画比 Δ 0.2 人の 29.8 人となりました。また、ゆめの里朝日宅老所は 6 月から土曜日営業を始め、延べ利用者数が前年比 1,100 人の増加で、一日平均利用者数は計画比 1.0 人増の 4.9 人でした。

ゆめの里福祉相談センターは、訪問介護が訪問回数 18,036 回で計画比 119.3%の大幅増加となり、居宅介護支援は延利用者数 2,859 人で計画比 99.1%となりました。

一方、「松本市立松風園」は入居者の要介護化もすすむなかで、一日平均 93 人の入居者数となり、自立した日常生活と円滑な共同生活が送れるよう、積極的な援助を行ってまいりました。